

□ 要請番号 (JL51222A42)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ガーナ	G182 小学校教育	20~45歳のみ	個別	交替3代目	2年	・2023/1・2023/2・2023/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育省

2) 配属機関名 (日本語)

ガーナ教育サービスアカチサウス郡教育事務所

3) 任地 (ボルタ州アカチサウス郡) JICA事務所の所在地 (アクラ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車で約3.0時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

ガーナ教育サービス(Ghana Education Service:以下GES)は、教育省所管の政策実施機関であり、学校運営、年間計画、教職員の人事管理や研修実施のほか、国内の学校教育全般にわたる運営・管理を担っている。ガーナ国内には約200カ所に地方事務所がある。アカチサウス郡事務所の管轄下には、小学校75校、中学校35校があり、10学区(サーキット)に区分されている。同郡事務所は、JICA技術協力プロジェクト「現職教員研修制度(INSET)2009年-2013年」のパイロット事務所であり、これまで複数のJICA海外協力隊員の受入実績がある。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ガーナ政府は初等教育の従来のカリキュラムを見直し、2019年9月から新カリキュラムを導入した。新カリキュラムでは、算数、特に理科における実験が重要視されており、実験を通じた学びが推奨されているが、地方には実験室を備えた学校はなく、また実験を取り入れた授業を実践できる教員は少ない。配属先は現地教員の指導力と生徒の学力向上に取り組んでおり、JICA海外協力隊員は、近隣の小学校を巡回し、現地で入手できる材料を利用した教材の提案や、実験を取り入れた授業の紹介を行うことが求められている。過去に派遣された隊員は単車を利用して巡回活動を行ってきたが、コロナ禍で単車が使用できない現状では、徒歩(または自転車)で移動可能な範囲の学校2-3校を拠点校として活動する。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 同じ学区内にある小中学校(2-3校)を巡回し、算数、理科(特に実験)の授業を現地の教員とともに行う。
- 現地で入手可能な材料を使った教材の開発と教材を取り入れた授業を提案する。
- 授業や家庭学習に算数ドリルを紹介、導入し、小学生の計算能力の向上を目指す。
- 現地教員向けの教材紹介やモデル授業を行う研修会を開催し、教員の指導力の向上に努める。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

巡回先学校の設備(黒板、チョーク等)

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

配属先長(50代、大卒)

スタッフ約30名(大卒)

理数科コーディネーター(大卒)

活動対象者:

小学校高学年、中学生(1クラス約50人)

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]：(小学校教諭)

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(指導経験) 2年以上 備考：教員への指導が求められるため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(サバナ気候) 気温：(25～35℃位)

[電気]：(不安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(不安定)

【特記事項】

生活使用言語は主にエウエ語。不定期的な停電、断水がある。
現在、コロナ感染予防のために公共交通機関の利用を禁止している。状況が落ち着くまでは、任地内外の移動は徒歩もしくは借上げタクシー利用となる。